

HYOGO 愛護 ニュース

発行

兵庫県知的障害者施設協会

〒659-0015

芦屋市楠町16番5号 三田谷学園内

発行責任者 堀 勲

TEL (0797) 22-5025

FAX (0797) 22-7885

印刷所 株式会社アカツキ印刷

社会福祉基礎構造改革と 入所者待遇の評価についての一考察

兵庫県健康福祉部障害福祉課長

兼 井 孝 政

知的障害児（者）の福祉行政推進につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、この度「愛護ニュース」に寄稿できる機会をいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、知的障害児（者）の福祉行政の充実は、単に行政だけでできるものではなく、皆様と一体となつて進めていく必要があります。

そのためには、互いに知的障害者福祉だけでなく、今後の福祉行政全般の動向を研究し、将来を見据えた知的障害者福祉のあり方を検討する必要があると思います。そのために、わたし自身に率直な意見を寄せていただきたいと思います。

先日、ある施設長とお話しする機会を得ましたときには、その方から「入所者待遇のあり方にについて検討しているが、他の施設と比較するものが

ないため苦労している」というお話を聞かせていただきました。これに対して、その時に返事を返さなかつたたと思いますので、この場をお借りしましてご返答させていただきます。

まず、皆様は、社会福祉基礎構造改革を充分に研究されておられると思いますが、これについて、触れさせていただきます。

(2) 入所者待遇の評価

私は、福祉事務所の所長として何度も老人福祉施設の評価検討に立ち会いをさせていただきました。

その経験から申し上げれば、入所者の待遇で高い評価を受けられる施設は、施設長がしっかりといたる所も、施設長がしっかりといたるとともに、これを職員と共有している施設であつたと思います。

いま国において障害者施設の待遇等の評価の基準づくりが進められております。

これは、行政として利用者の選択権を支援するために実施する必要があり、兵庫県におきましても、老人福祉施設等について、現在取り組んでおります。

平成十年四月より保育所の入所方式（児童福祉法）において、始まっています。また、措置制度から支援費支給方式という契約方式への移行が十四年四月から実施の方向で、現在国において作業が進められています。

さきの施設長をはじめ皆様は、こ

の方向を充分にご理解いただき、検討また実践されておられることと感謝申し上げます。

知的障害者・身体障害者に関する施設長をはじめ皆様は、これまで作業が進められておりま

今後この国の評価基準が全般に渡る「ものさし」になるものと考えますが、基準はやはり目に見える外的なものになると思います。

外的な基準を否定するつもりはありませんが、本当に人所者にとって一番安心できる待遇は、やはり職員の温かい気持ちから出てくるものであり、職員自身の内面からの待遇ではないかと思います。

これは、行政の努力のみでできるものではないと考えます。

施設長をはじめ職員自らが、日々の処遇のあり方を検証し、ちいさなところから実践して作り上げて行くものではないかと思います。



皆様の日々のご苦労を十分には理解していない私の話に、貴重な紙面をさいていただきまして感謝申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝と兵庫県知的障害者施設協会のますますのご発展を祈念いたしまして、巻頭のごあいさつとさせていただきます。

平成十一年度

県施設協会総会開かれる

平成十一年度兵庫県知的障害者施設協会総会が四月三十日(水)「六甲荘」に於いて開かれました。

総会に先立ち、兵庫県健康福祉部・兼井孝政障害福祉課長よりご祝辞をいただきた後、来賓の紹介を行いました。(尚、神戸市障害福祉部・藤井良三部長からもご祝辞を頂戴する予定でしたが、急遽公務のためご欠席となりました。)

兵庫県健康福祉部 障害福祉課
課長 兼井 孝政
社会福祉施設整備室長 永守 研吾
神戸市保健福祉局 障害福祉部 育成課
知的障害福祉係長 横田 治郎
兵庫県社会福祉協議会 施設福祉部
部長 小林 茂



県障害福祉課 兼井課長 ご挨拶

引き続き平成十一年度の事業計画案と予算案の審議を行い原案通り承認されました。また人事異動に伴う役員の改選が行われ、次の通り新役員が選出されました。

▽副会長

・事業団担当

八木 敬雄(赤穂精華園)

前任者 大原三木精愛園園長

定期退職のため

▽監事

平野 太市(砂子療育園)

前任者 川口 精藏氏

人事異動のため

最後に会長より「施設実態調査」について出席の会員に對して協力の依頼がなされ、担当の婦木委員より詳細な説明がなされた後、全会員施設がこの調査について積極的に推進していくことを確認しました。

以上の審議が終了し、午後四時一五分に本総会は閉会しました。

(文責 県知的障害者施設協会
事務局長 石割 徹)
兵庫県立知的障害者更生相談所
所長 坪田 正行
兵庫県手をつなぐ育成会
事務局長 杉原 一三
常務理事 梶田源一郎
算報告・監査報告の承認がなされ、
選出し、議事に移りました。
内藤義信いぢれつ学園園長を議長に
た。出席者数一四六名、委任状四一
名、計一八七名となり総会は成立し、
まず、平成十年度事業報告及び決

第8回

ひょうご・ゆうあい

スポーツ大会

平成十一年四月十七日（土）に、
加古川市の加古川運動公園陸上競技
場をメインに六会場で、知的発達障
害を持つ人たちの祭典「第八回ひよ
うご・ゆうあいスポーツ大会」が開
催されました。

この大会は、知的障害者のスポー
ツの一層の発展を図ると共に、県民
の知的障害者に対する理解と認識を
深め、知的障害者の自立と社会参加
の促進に寄与することを目的として
います。主催は兵庫県・加古川市・
兵庫県知的障害者施設協会・兵庫県
手をつなぐ育成会・兵庫県障害者ス
ポーツ協会でしたが、加古川市体育
協会をはじめ、各競技団体の皆様や
地元ボランティアの方々の絶大なご
協力とご支援をいただいたことに御
礼申し上げます。

当時は、兵庫県下各地から健脚自
慢、腕自慢の選手が二、三三八人と
職員・保護者・ボランティア等が
一、五〇八人の総勢三、八四六人が
盛大に挙行されました。



会も兼ねており、入賞者の中から、
兵庫県選手団のメンバーを決定しま
す。

○バスケットボール 男子	三位 神戸養護学校	三位 バレーボール女子
一位 共に歩む会	二位 出石養護学校	一位 朋友会
二位 共に歩む会	三位 高等養護学校	二位 朋友会
三位 朋友会	三位 神戸養護学校	三位 高等養護学校
○ソフトボール	三位 高等養護学校	三位 朋友会

三位 朋友会

バスケットボール 女子

一位 共に歩む会

二位 こやの里養護学校

三位 フアミリーバスケット

ボルクラブ

○フットベースボール

一位 養徳会

二位 ブラックペッパーズ

(三光園・三恵園)

○サッカー

一位 共に歩む会

二位 いなみ野養護学校

今後の課題として、第十回大会か

ら知的障害者と身障者が一緒になつたスポーツ大会に移行する予定になつていますが、初めての試みなので役員としても戸惑っているのが現状です。また、重度者の参加できる競技の見直し、開催地・会場の選定等、問題が山積していますが関係者の皆様のご協力とご支援をいただき運営にあたりたいと思いますのでよろしくお願いします。

（文責 県知的障害者 施設協会
　　スポーツ委員長
　　ななくさ育成園園長 井上久芳）



人権擁護と言うけれど 兵庫県知的障害者施設保護者協議会

会長 池田 弘

く、知的障害者施設にも言えることはないでしょか。今まで各地の施設で人権問題が発生しています。どうしたら未然に防ぐことができるのでしょうか。施設も保護者会もどちらにとつても大変困難な問題ですが、身近な事を取りあげ、互に話合うことが、ます必要だと思います。

第一回権利擁護実務者研修会について高村浩弁護士がまとめた記事を参考にさせてもらいますと次のような具体策があります。

一、埼玉県の福祉オブズマンでは、知的障害者の施設の情報公開を求めて県下の施設職員の数値を発表しています。それぞれの地域には「社会福祉施設指導台帳」があり、それを公開させることができます。

二、一人ひとりの利用者は個性的であり、標準的な処遇方法にはならないし、できないこともあります。そのためのものだが、今回は拘束しないための具体策も提示しており、現場で議論・検討してもらいたい」と話しています。一方この問題に詳しい大阪大学の大熊一夫教授は「日本のは病院の人手が足りないから行動制限をするとの認識が強いが、その考え方には何らかの歯止めが必要だ。縛ることのマイナス面の吟味が足りない」と話しています。これは病院だけに言えることでな

施設側がどこをどうしたらいいか反省点まで書いて公表しています。もちろん良かったことも含みサービスの結果を評価しています。

四、食費にいくら金をかけているか、バイキング形式の食事を年何回採り入れているか、入浴は週何回か等でクリエーションの回数はどれくらいか、このように内容を明確にすることにより内容を明確にすることができます。

五、とは言うものの施設の中には、このような情報を公開することに消極的なところもあります。その

ような場合には、施設側が提供する情報量の多いところに10点をつけてランクづけをし各施設の表を作ることも一つの方法です。(当協議会の一つの仕事にもなると思います)。

これからは、施設も保護者会も行動制限等人権の問題及びそれに対応する責任の限界に、困難であるが取組んでいかねばなりません。

施設のなかには、利用者の人権確立のため、そのノウハウを摸索し、試行錯誤をくりかえし、物・心両面において苦労されているところもあります。分け隔てのない他人への愛が、その理由や根拠を検討し、その記録をもとに利用者、保護者と職員が意思疎通をはかることができます。

三、東京のある特別養護老人ホームでは、見学者に対してもパンフレットに毎月の事故発生状況を出し、どういう状況で事故が発生したか、

二、いつ、だれが施設に来ても、施設はオープンであり、隔離されない所がない。保護者へは財務面も含み事業内容を報告している。

三、職員は活発なミーティングを日々行ない自己啓発に励み、有意義な研修であれば国内外はもちろん海外へもでかける。

四、職員の自主性を尊重するとともに、自己責任も明確にする。もし過失があつても隠べいせず、非難せず、プロセスをみんなで検討反省し対策を取る。最終判断するのはもちろん施設長である。

五、管理管理の職場でなく、それぞの職員が意欲的に切磋琢磨し福祉をきずくことであり、そのためには社会、経済、文化、哲学に造詣を深め自信のある職員を育てる。

このような取組は保護者にとってありがたいことです。しかし保護者のなかには、まかせきり又はひとりよがりで施設の実情を理解せず、事が起るとエゴむき出で施設の非をせめたてる人がいます。保護者は自己中心であつてはいけません。人間関係が大切な福祉の世界ではなおさらです。他者の立場を尊重し、互が理解を深め「自助」「共助」に勤め、施設と共に利用者の幸せを守りたいのです。

すなおに「理解」と「感謝」ができる強靭な保護者になれば、人権擁護の道が開けてくるのではないで

新任職員研修会報告

県知的障害者施設協会 研修委員長

三美学苑長 婦木 治

の自立訓練を行うことを目的としています。

よく知られている通り、コープこうべは賀川豊彦氏が設立されたものであります。氏はキリスト教の教えに基づき、神戸のスラム街で貧民救済を行いましたが、貧困者は増加し、社会問題となりました。そこで氏は、

貧民をなくすためには社会から変えいかねばならないという考え方の基に、就職の場や食料支援のために生協同組合を起こされたのです。コープこうべの活動は組合員のボランティアから始まり、その活動は地域の業務に生かしていかなければならぬ多くの教えがあるように思いました。時代が変わつても崇高な経営理念の浸透がその組織の活動の浮沈と評価につながっていくのだということを痛感致しました。

「いい仕事がいい人間をつくる」という言葉には、まさに我々の日々の活動は、人（お客様）をいかに大切にしているかということを第一に考えている実践であるということであります。

「いい仕事がいい人間をつくる」という言葉には、まさに我々の日々の景気低迷の時期に、大型店との競合の中でコープこうべが着実に組合員数を増加させ、盛況に経営がなされているのは、やはり、利用者に心から役に立ちたい、そして本当に喜んでもらえるものを提供するという経営姿勢の現れであると思いま

た。

コープこうべは、大震災以来特に社会福祉事業に力を入れてきておられます。老人関係施設の整備をはじめ、福祉機器・用具専門店「ハートランド」は、その中でデイサービス、在宅介護支援センター、ボランティアセンター、給食サービス等が行われています。また、西宮市には重度身体障害者の事業所として株阪神友愛食品があり、阪神7市1町と神戸市、コープこうべが出資して障害者

の自立訓練を行うことを目的としています。

よく知られている通り、コープこうべは賀川豊彦氏が設立されたものであります。氏はキリスト教の教えに基づき、神戸のスラム街で貧民救済を行いましたが、貧困者は増加し、社会問題となりました。そこで氏は、

貧民をなくすためには社会から変えいかねばならないという考え方の基に、就職の場や食料支援のために生協同組合を起こされたのです。コープこうべの活動は組合員のボランティアから始まり、その活動は地域の業務に生かしていかなければならぬ多くの教えがあるように思いました。時代が変わつても崇高な経営理念の浸透がその組織の活動の浮沈と評価につながっていくのだということを痛感致しました。

「いい仕事がいい人間をつくる」という言葉には、まさに我々の日々の景気低迷の時期に、大型店との競合の中でコープこうべが着実に組合員数を増加させ、盛況に経営がなされているのは、やはり、利用者に心から役に立ちたい、そして本当に喜んでもらえるものを提供するという経営姿勢の現れであると思いま



特別講演
コープこうべ 名誉理事 増田大成氏

施設紹介

◇ 知的障害者入所更生施設

社会福祉法人 あおぞら

ライフセンター神戸

所在地 神戸市西区神出町勝成字野口十六一八

電話 (078)96513883

電話 (078)96513883
設立 平成十一年六月一日
定員 五十名施設長 高見哲夫
職員数 二十六名(嘱託医一名)

二十世紀型福祉の

創造を目指して!!

人類と地球の命に対して警笛を鳴らし始めた二十世紀末。二十一世紀は、まさにこの警笛に対して「新たな認識と行動」を私達に求める時代だと言えるでしょう。ライフセンター神戸では、恵まれた自然環境と心温まる地域社会との交流を通して環境にやさしい、命にやさしいこれからへの福祉の在り方について見つめ続けて行きたいと思います。

一人間性の創造と回復を
限りなく求めて――

◇ 沿革

神戸市西区の重度知的障害者を持つ親達が中心になり、親亡き後も我が子を安心して託せる施設として可能な限り家庭生活に近い居住空間を持った施設を誕生させました。



◇ 施設運営方針

- (1) 社会に開かれた施設運営
- (2) 居住空間の工夫
- (3) 利用者主体の支援
- (4) 職員研修の充実
- (5) 民主的な職場環境の形成
- (6) 地域福祉の中核としての施設

◇ 支援の内容

- ー 利用者個々の自己実現にむけて
- ー Support a Policy

① 生活支援

- ・ 利用者的人権と主体性の尊重
- ・ 他者との共存と連帯関係の育成
- ・ 健康管理と体力の維持・増進
- ・ 社会活動の充実

② 作業支援

- ・ 職住分離を原則とした地域社会
- ・ 参加型の作業支援
- ・ 個々に応じた作業種目の設定

施設紹介

◇ 知的障害者入所更生施設

社会福祉法人 明桜会

『大地の家』

遠くに淡路島と明石海峡大橋を眺望できる丘陵に、今春、施設は完成しました。

すぐ近くに、市立の通所施設「木戸大学附属養護学校」、さらに身体障害者療護施設「博由園」があります。

また、隣接する石ヶ谷公園は、梅と桜の名所として市民の憩いの場所でもあり、施設利用者の体力づくりや散歩コースになっています。



所在地 明石市大久保町大窪二七五二一一

電話 (078)9341-1222
設立 平成十一年五月一日
定員 五十名電話 (078)9341-1222
設立 平成十一年五月一日
定員 五十名電話 (078)9341-1222
設立 平成十一年五月一日
定員 五十名

◇ 沿革

明石地区手をつなぐ育成会が、地元に施設をという長年の夢を具現化すべく「入所施設設立準備委員会」を設置し、積極的な活動を取り組み明石市に初めての知的障害者入所施設の設立となりました。

◇ 施設運営方針

- ・ 利用者的人権尊重を基盤とした生活づくり、明るく快適な環境づくりを行ない、個々のニーズにあつた最適な援助を目指します。

◇ 援助の重点

- ・ 利用者一人ひとりの人格を尊重し「利用者中心の援助」を基本とします。

三、地域住民とのふれあい、ボランティアとの交流を積極的に取り組み社会活動への参加を促します。

施設紹介

◇ 知的障害者入所更生施設
社会福祉法人 宝塚ざんか福祉会
いきいき宝塚(ほづく)

所在地 宝塚市口谷東三丁目

三十番地の三

電話 (〇七九七)八九一八七八〇

設立 平成十一年四月一日

定員 入所定員 四十名

・短期入所定員 四名
・デイサービス

七名／一日

施設長 新開 晓子

◇ 沿革

生まれ育った地域での生活支援を進めている「宝塚市手をつなぐ育成会」と通所三施設を運営する宝塚さんが福祉会がタイアップし、行政や市民の協力を得て、「宝塚市内に知的障害者の生活支援拠点施設を」という関係者の長年の願いが実現しました。

従つて、生活施設としての機能と同様にショートステイやデイサービス等の在宅支援機能を重視しています。



◇ 施設運営方針

一、できるだけ家庭的な生活をめざし、グループ単位の活動をすすめます。

二、生活の場と日中活動の場を区別し、リズムのあるいきいきした生活をめざします。

三、入居者の自由と自主性を大切にし、選択と自己決定の機会を多く持ります。

四、デイサービス、ショートステイ、相談事業などを通じて在宅で生活している知的障害を持つ人達と家族の支援に積極的に取り組みます。五、日常の諸活動を通じ、地域住民との交流に務めます。

施設紹介

◇ 知的障害者入所更生施設
社会福祉法人 アルーラ福祉会
アルーラ

所在地 執務郡新宮町千本
二二九四一

電話 (〇七九一)七五一五六二

設立 平成十一年四月一日

定員 五十四名（内ショート四名）

施設長 内海 貞子

アルーラという名称は施設名としては珍しいので、多くの人から「何語」「どんな意味」と聞かれます。ラテン語からとった語で黎明夜明け

希望などの意味があります。

意気込んで発

足した施設に

ふさわしい命

名ですが、そ

れだけの遭遇

ができるアル

ラらしくなる

多いたと思われます。周囲を山に囲まれ山紫水明、田畑小川、ローカル線のデイ

ゼル車がよく似合う、日本人が今求めている安息のある環境の中に、細長く東西に延びて建てられています。

広く取つた廊下が端まで見渡せる造りなので玄関を入れると「明るいな」という印象です。

◇ 施設運営方針

入所者の健康と安全に留意しががえのない一人の人間として尊び、職員が和と思いやりの心で入所者と共に成長し、ひとりひとりのリズムを大切にしながら、個別的な待遇の中で、社会生活能力をたかめるための環境づくりと援助を展開する。

ー自然の中で自由にー

◇ 援助内容

生活指導ー社会に必要な知識、生

活習慣の会得

作業指導ー作業を通して働く喜び

を感じ、集中力や継続

性を身につける。

作業を通して仲間と協

力して達成するとい

う連帯感を養う。

豊かな自然の中で農園

作業を行い、精神安定

力の安定を図り協調性を養う。

余暇指導ークラブ活動、文化活動レクリエーションを行
い緊張を解消し、情緒の安定を図り協調性を

職員便り

しやましまつ

新卒の新米ヘルパーとして、知的障害・精神障害・身体障害をもつ方の家庭を訪問し始めて早一年がすぎましたが、この挨拶は変わりません。

対象者の家庭環境は、ご夫婦・親と同居・独居と様々で、利用状況も週一回からほぼ毎日出会う方まであります。が、訪問時の安否確認はいつもドキドキします。また、下は小学生から上は自分の親と同世代までと年齢層も幅広く、時には嫁のように家事を教わり、時には「遠くから見たら夫婦みたい(!!)」と言われるほど仲のよい姉のように、また時には友人のように肩をならべて語り合ったりと、一日に何役もこなしています。最初はなかなか切り替えができるず、落ちこんでばかりいましたが今では少しずつ作りあげてきた各家庭の雰囲気が、それをカバーしてくれるているように思います。

最近感じるこの仕事の難しさは二つ。まず、ワンポイント的な援助なので、毎回違う対象者の顔色、表情、

行動等を限られた時間の中で観察し、援助につなげていかなければならぬこと。短気な私は、何か異常に気づいても、なかなかその原因がわからず、いつもアタフタ、イライラしてばかりです。もう一つは、地域という大きなライフステージで生活している対象者を援助するということは、その人を取り囲むすべての人との関係づくりが必要となること。そのためにはと言い訳をしながら、近所の人達もまじえて井戸端会議をするのが楽しみだつたりもします。なんといっても、若輩者の私にとっては、人生の大先輩から「生活の知恵」を教わる、絶好のチャンスですから。「家にいても何もしない」と、よく母親に叱られますぐ、実のところ、いい花嫁修業になつてているのかもしれません。

4月9日	平成10年度第6回役員会 (三田谷学園)	14日	新任職員研修会 (神戸市労働会館)
17日	第8回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会 (加古川市)	28日	県社会福祉施設経営者協議会理事会 (県福祉センター)
30日	県施設協会総会(六甲荘)	5月30日	日本知的障害者愛護協会組織検討委員会 (東京)
6日	日本知的障害者愛護協会 県施設保護者協議会理事会 県社会福祉施設経営者協議会理事会	14日	県社会福祉施設経営者協議会理事会 (兵庫県民会館)
18日	日本知的障害者愛護協会 理人会 派遣選手選考会 日本知的障害者愛護協会 評議員会	19日	日本知的障害者愛護協会 理事会 (東京)
19日	全国知的障害者関係施設 長会議 (東京)	28日	ゆうあいピックしまね大会 (兵庫県民会館)
28日	県施設協会・県育成会後援会 第1回播淡地区職員研修会	31日	日本知的障害者愛護協会 (東京)
18日	第25回全国通勤療職員研究大会(ティジンホール) 第1回播淡地区職員研修会	6月1日～2日	全国知的障害者愛護協会 長会議 (姫路陸上競技場)
30日	害福祉プラン改定に係わる意見聴取会 (県立のじぎく会館) (芦屋)	4日	4月11回ばんたん親善運動会 (姫路陸上競技場)
11月5日	ゆうあいピックしまね大会 (松江)	4月11日～8日	4月11回ばんたん親善運動会 (姫路陸上競技場)
6日	兵庫県社会福祉大会 (加西市)	10月2日～3日	10月2日～3日
11月5日	ゆうあいピックしまね大会 (三田谷学園)	11月5日	第3回役員会 (三田谷学園)
18日	近畿地区施設長会議 (和歌山)	18日～19日	18日～19日
1月7日	第4回役員会 (三田谷学園)	1月7日	1月7日
14日	福祉四団体質問交換会 (楠公会館)	14日	新任職員研修会 (三田谷学園)
7月8日	近畿地区施設協会役員会 (芦屋)	29日	通所更生部会施設等職員研修会 (神戸市中部在宅)
		8月3日	阪丹但地区全体研修会 (ワーレクプラザ宝塚・いきいき宝夢)
		8月3日	障害者セントラル
		17日～19日	通信教育スクーリング
		26日	ゆうあいピック島根大会 (大津市)
		9月3日	第2回役員会 (三田谷学園)
		8日～10日	全国知的障害者関係施設 職員研究大会 (北海道)
		19日	近畿知的障害者福祉大会 (滋賀)
		24日	愛護の集い (神戸市労働会館)